

世界中の地図情報・GIS データをお手元に

パシフィックヴィジョン社 『World Topo Map』 販売開始

◆ 『World Topo Map』 概要 ◆

異なる地域の地図情報それぞれを比較したときに、情報の仕様や密度に差があることは避けられません。全世界地図の作成が困難である最大の理由はここにあります。膨大な各種の地図情報を整理して、統一された仕様の世界地図として、全世界を 100 万分の 1 スケールでまとめた地図データが『World Topo Map』です。

各大陸や大陸別の各地域、さらに各国レベルでの詳細情報を持ち、ブラウジングはもちろん、GIS データとして活用・分析することができます。具体的な使用例は以下の通りです。

§ 基本

- ・国や地名を検索して、ヒットした地域を閲覧する
- ・拡大・縮小して、目的に合った状態で閲覧する
- ・任意の地点について、緯度経度を正確に把握する
- ・交通や河川など、個別の情報のみを表示させて、見やすい状態で確認する

§ 応用

- ・行政界区分（国・州・省レベル）で色分けして、グループや分布を確認する
- ・2 地点間の距離、指定エリアの面積などを算出する
- ・オリジナルの各種情報を追加する
- ・別途に入手した地形図や海洋図（GEOTIFF データなど）衛星画像などを重ねて、簡易解析に用いる

このデータは、直接的な営利を目的としない活動全般において法人内での複製・加工と二次利用を認めています。以下は一例ですが、他にも自由な活用が可能です。

§ 引用

- ・レポート、研究発表に使用するため、データを貼り付ける
- ・ポスターや出版用に、グラフィックフォーマットとして出力する

§ 総合利用

- ・ある地域のニュースやイベント情報をポインティングして、地図データ上に記録する
- ・他の地図データや、保有する紙の地図、ほか地理に関する情報全般を管理する Index Map とする
- ・機関内で、分野が異なる研究情報を地理的に集約するための、共通プラットフォームとする



『World Topo Map』初期画面（見たい地域を範囲指定すると、適切な縮尺で表示されます。縮尺は自由に指定できます）

◆ 『World Topo Map』 の操作について ◆

GIS データである『World Topo Map』は、GIS ソフトを用いて操作しますが、製品にはオープンソースアプリケーションとして代表的な「Quantum GIS (QGIS)」をパッケージしています。QGIS での利用に際しては、GIS 初心者にもわかりやすい簡易操作マニュアルが提供されます。

当データのファイル形式は SHAPE となっており、ArcGIS を筆頭に、各種の解析用 GIS ソフトでの利用ももちろん可能です。

◆ 『World Topo Map』 のメインレイヤ と、『Light』『Full』◆

『World Topo Map』における 10 のメインレイヤは、以下の通りです。

- ①道路系 ②鉄道系 ③水系 ④都市名 ⑤自然地名(河川、山、島など)⑥行政名称 ⑦海底データ(等深線) ⑧ヒルシェイド(陰影) ⑨国境線 ⑩第一行政界(州・省など、日本は都道府県単位)

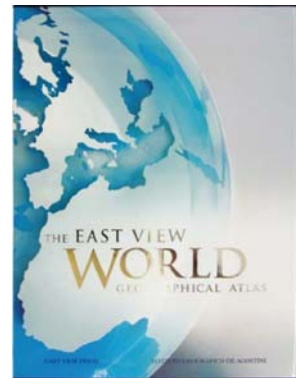
『Light』は PC 操作での軽快さを重視して、各レイヤの情報量を世界地図帳レベルに抑えています。

『Full』は研究者向けに、①から⑤についてより詳細な情報、また下記レイヤをニーズに合わせて個別に用意しています。 ⑪標高・等高線(50m単位) ⑫海岸線(1:250,000 レベル) ⑬パイプライン・送電線・電話線
製品の価格など詳細については、カタログおよびサンプルをご請求下さい。

◆ 『The East View World Geographical Atlas』 と 『World Topo Map』 ◆

現在刊行されている世界地図帳で最新(2011 年刊)かつ最も詳細な『The East View World Geographical Atlas』は、East View 社の地図データ技術と、イタリアのデアゴスティーニ社の協力で刊行されました。デアゴスティーニ社は 20 世紀初頭、ローマに設立された地理学研究所を母体とする地図作成・出版の伝統ある会社です。

この世界地図帳の作成にあたり、デジタルのベースとなっているのは『World Topo Map』のソースと同様のものです。質感に秀でブラウジングに適した冊子『The East View World Geographical Atlas』と、GIS データならではの機能を備えた『World Topo Map』をともに揃えることで、ワールドワイドな研究や思索をより充実させることができます。



◆ 地理学と GIS と 『World Topo Map』 ◆

地理学は、人文社会・理工医学の各ジャンルに共通しうる 1 つのテーマ「何が、どこに、どのように存在するか」を地理空間的に把握する、総合学問です。GIS の登場により、これに加えて時間的要素の綿密な記録も可能になり「今後何が、どのように起こり得るか」の推論が高い精度で行えるようになりました。その成果は災害予測をはじめ、現代の社会生活において各所に活かされています。

全世界を PC 上で概観できる、地図にして GIS データである『World Topo Map』は、「世界を知る」という総合的な教養におけるベーシックな資料としてのみならず、膨大かつ詳細な研究成果を、地理空間という基盤情報の上に整理・蓄積していくための、ベースマップとして機能します。

各機関の貴重なリソースである研究・活動成果を『World Topo Map』にまとめて記録することにより、新しい相関関係が見出されるかもしれません。これは、総合学問としての地理学の本分であり、分野の垣根を越えた「総合知」を生み出す一歩になり得るものです。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部 (電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。